

あすを拓くみどりの新しい風

むつみ

2026

1

No.383

迎
春



JA茨城むつみのHPを
ご覧いただけます！



LINEはじめました
@321osrwp

新春号

JA茨城むつみ

年頭のごあいさつ



代表理事組合長



新年を迎える謹んで年頭のごあいさつを申し上げま

新年を迎えた謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。日頃から組合員並びに地域の皆さま方におかれましては、農協事業に特段のご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

2025年は、能登半島が大地震に見舞われてから1年となり、復興への歩みが本格化した年として歴史に刻まれ同時に阪神・淡路大震災からは30年目、終戦からは80年という重要な節目を迎え、日本の災害復興力と平和への意識を再確認する1年となりました。

農業情勢では、様々な課題と可能性が交錯する転換期を迎えていました。特に団塊の世代約800万人が全員75歳以上となることで、社会全体に様々な影響をあたえ、また国際情勢の緊迫を要因としたエネルギーや肥料・飼料等の生産資材価格高騰に加え、枝肉価格市況の低迷など農業経営は厳しさを増しております。農業分野では、高齢農業者のリタイアによる担い手不足がさらに深刻化し、耕作放棄地の増加や食料自給率の低下といった問題が多く聞かれました。

そのような中、JAグループの令和8年は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の基本的な柱を前年度を踏まえた継続年であり組合員・地域住民とともに食と農を支える協同の力を発揮するよう努めていくことが重要であると考えます。



常務理事
谷 島 勇



常勤監事
海老原 尚



監監監監監
學經監事(員外)代表監事
事事事事事
小細風鈴染海老閑須野木増大宇宮内青因岡小林秋北須板谷塚垣島
澤野見木谷島釜仲村渕越木木田田泥保久村田島谷原
敏春和美直忠壽房正信和孝伸吉和周芳一淳博徹良
明江夫智子人夫子子已一子也浩一武紀之守一之均尚夫勇己

当農協では、所得増大はもちろんであり、組合員や地域の皆さまの「暮らしを豊かにする」をモットーに、さまざまな取り組みに励んでおります。みなさまの健康を支える基本は、日々の「食」であります。管内では東京の台所と言われる立地を生かし、農作物が多種栽培されており生産が盛んで、茨城県の銘柄産地の指定野菜をはじめとする、新鮮な野菜を日々京浜市場を中心に供給しております。又、地元の安全・安心・新鮮な野菜を身近で感じられる農産物直売所などを通じて皆さんに、毎日提供させて頂いております。

国で掲げております、私たちの国で消費するものは、その国で生産するという「国消国産」を重要視することは、健康の維持に欠かせない取組みであると思います。皆さま方には、ぜひ管内で育った多くの野菜を食宅へ彩って頂きたいと思います。

また、健康を維持する上であわせて必要なものは、「余暇を楽しむこと」と思います。管内では参加型イベントとして、グラウンドゴルフ大会の開催や、国内外旅行、地域の感謝祭など、皆さま方のコミュニケーションの機会を提供することにも積極的に取り組んでおります。また毎年6月23日をむつみの日とし、JAファン拡大に向けた各種イベントを行っており、各支店では皆さま方のご来店を心よりお待ちしております。

さらに、女性部活動におきましても、健康増進のためのビーチボールバレー大会、毎年熱戦が繰り広げられ大きな歓声の中、楽しんでいただいております。このほかにもさまざまなものでトを通じ、地域の皆さまの健康管理・介護・福祉・防災・交通安全、生活支援、スポーツ支援や葬儀のご相談・相続相談等、地域農業振興などの活動を行っております。

J Aの経営環境が厳しさを増す中で、人と人のつながりを大事にした組合員との対話を引き続き取り組むとともに、「変えるための考動」による自己改革を継続し、地域活性化の取り組みに努め、地域になくてはならないJAとなるための事業戦略として「持続可能な収益性と健全性の確保」を追求しながら組合員・利用者のニーズに応え、JAが信頼される組織事業運営を開く役職員が一丸となつて取り組んでいく所存であります。

むすびに、2026年が皆様にとって幸多い年となられますことをご祈念申し上げ、年頭にあたつてのごあいさつといったし

今年もよろしく
お願ひ申し上げます

日頃の感謝を込めて むつみ感謝祭開催! ご来場ありがとうございました!!



J A茨城むつみは11月22日総和支店、29日猿島中央支店、五霞支店、12月6日三和支店でむつみ感謝祭を開催しました。イベントでは食料品や野菜果物、肥料農薬の販売を行い約1,200名の方にご来場いただきました。また、くらしの活動の一環として来場者に「さしまの息吹」のプレゼントを行いました。

総和支店 11月22日

来場者へサイコロゲームで出た数、卵の無料配布を行いました。
女性部では赤飯・山菜あこわ、園芸部会では焼きそばの販売をしました。
キッズコーナーでは射的を行いました。



猿島中央支店 11月29日

アンバサダーの佐々木もよこさん、菊池陽奈乃さん、スペシャルゲストとしてアキラ100%を招き地産地消PR行いました。ローズポークと豚汁の試食行いました。
また女性部ではそば・うどん・赤飯・フランクフルトを販売し、キッズコーナーではストラックアウトを行いました。



五霞支店 11月29日

来場者へ地場産野菜・餅まきの無料配布。モルック参加者に地場産品の参加賞のプレゼントを行いました。
女性部ではかきあげそば・うどんの販売を行いました。



三和支店 12月6日

来場者へ新米・バラの無料配布、ローズポークの試食を行いました。
女性部では焼きそば、赤飯、豚汁、カレーを販売し、養豚部会ではもつ焼きの販売を行いました。キッズコーナーではだるま落とし・わなげ・金魚すくいを行いました。



境地区健康ふれあい館オープン

J A茨城むつみは、11月27日より境地区にて体験施設「健康ふれあい館」の営業を開始しました。同館は株式会社フジ医療器の磁気治療器を、無料で何度も体験できる施設となっており、本年は2地区目の実施。前回の五霞地区では約4ヶ月の期間で、のべ1万人程の来場があり、利用者からは「血行が良くなつた」「通院で解決しなかつた体の痛みが改善された」(※効果の実感には個人差があります。)など喜びの声が上がつていきました。

今回は境支店駐車場内にて1月末頃までの営業を予定しており、10時から13時、15時から18時までの2部制での受付となります。(土・日・祝は原則休館。)お体のお悩みがある方は、是非お気軽に立ち寄りください。

J A茨城むつみは12月5日、境町の同J A本店にて外国人実習生受入農家の新規受入及び契約更新調印式を開きました。

調印式は、同J Aと受入農家が外国人実習生制度の実施に関して委託契約を締結するために行っているもので、谷島勇常務理事は『人材の育成と確保』を目的とする『育成就労制度』が2027年に法施行される。また、気候変動により農業を取りまく環境が大変厳しい状況ではあるが、今後も的確な情報を伝えていきたい」と挨拶しました。

調印式では、J A担当者が実習生の新たな受入や契約更新する際の注意点について説明したのち、受入農家とJ Aが調印し、契約書を取り交わしました。



オープニングセレモニーの様子

「デイサービスセンター「ぬくもり」では12月10日、利用者の皆さんと毎年恒例の「ちよつと早い年越しそば」を味わいました。このお蕎麦、この日のために茨城むつみ女性部の皆さんのご協力を頂き、地元のそば粉、そして手打ちということで皆さんスケジュールを合わせるくらい人気があります。今年も35人の超満員。

今回は総和地区的女性部の皆さんに朝早くから集まって腕を振るつていただき打ち立てを持ち寄つていただきました。ぬくもりの厨房では海老やカボチャ、かき揚げを揚げだすとフロアーにいい匂いが漂うお蕎麦屋さんの雰囲気に。蕎麦を茹で、つけ汁と天ぷらを添えて出来上がり。

手打ちならではの格別のそばの風味とコシ、柔らかさ。利用者の皆さんはふんだんに味わい「ほんと美味しいね」「最高!」「ほかのお蕎麦とはやっぱり違うね」「もっと食べたい!」など楽しんでいる模様。

「お蕎麦のように細く長く過ごす」「今年の苦労を切り捨て、来年を幸運で迎えられる」そんな意味を持つ年越しそば。

来年を笑顔で過ごせる「願い」を込めて私たちも頑張りましょう。総和地区女性部の皆さん、おいしいお蕎麦、ご馳走様でした。



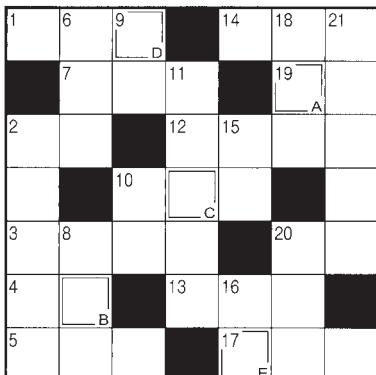
総和地区女性部のみなさん



「ぬくもり」で「女性部お手製 年越しそば」

応募してわくわくプレゼントを当てよう!

〔? クイズ ?〕



11月号の答え

A B C D E
ブン カサイ



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

↓タテのカギ

- 2 メレンゲを作るときに使う道具
- 6 鍋料理の締めにも使う麺
- 8 晴れかなあ、雨かなあ
- 9 牛、豚、鶏のものがよく流通しています
- 10 令和8年の干支です
- 11 歯ブラシにつけます
- 15 自分の兄弟姉妹の息子
- 16 ダルメシアンは——模様の犬です
- 18 書き初め大会で——に選ばれた
- 20 受験生が空欄に書き込んでいくもの
- 21 単位はアンペアです

→ヨコのカギ

- 1 正月に食べる、モチ入り汁物といえば
- 2 どら焼きに挟み込まれているもの
- 3 おせち料理の定番の一品。卵が材料の一つ
- 4 交差——、及第——
- 5 右手が——、という人が多数派です
- 7 本を読み終えること
- 10 ガラガラとのどを洗います
- 12 旅立つ人の——に駅のホームまで行った
- 13 ワラや木やレンガの家を建てる童話があります
- 14 漢字で書くと百足。足の多い生き物です
- 17 椅子のこと。ロッキング——
- 19 アルカリと混ぜると中和します
- 20 焚くとよいが広がります

☆応募方法
☆宛先は：境町長井戸23番地
JA茨城むつみ生活企画課

- 正解者の中から、抽選により
6名の方にわくわくプレゼント
(JA取り扱い商品を差し上げ
ます。奮ってご応募ください。
- 締め切り 1月31日(必着)

第381号の答えは、「ブンカサイ」でした。
次の方が当選されました。おめでとうございます。

- ・関 弘子・倉持 静子・知久 光江
- ・関口たか子・斎藤 義雄・張替 政樹

メールでの
ご応募は
こちらから



85
3060404
境町長井戸二三
JA茨城むつみ
生活企画課
行

はがき・メール・FAXのいずれかで、上記の①～④の事項を
もれなくご記入の上、ご応募ください。
E-mail :jamutsumi.kikakuka1@ja-ibaraki.jp
FAX :0280(87)1185 (生活企画課行とお書きください。)

第9回理事会だより

● 報告事項

- 1 令和7年11月末各事業実績について
- 2 ALM委員会の報告について
- 3 問合せ・相談・紛争にかかる対応状況について(令和7年度上半期分)
- 4 令和7年度 余裕金運用実績報告及び債券銘柄別評価損益について
- 5 令和7年度 余裕金運用計画額及び運用方針について(第4四半期・年次)

- 付議事項
- 第1号議案 固定資産減損会計の適用及び減損会計について(案)
- 第2号議案 経理規程附属規程「決算実施要領」の一部変更について(案)
- 第3号議案 理事貸出金について(案)



この取り組みは地域貢献活動の一環で、栄養や食料の摂取を学校給食に頼つて育っている子供たちや、物価高騰の影響で食費を切り詰めて生活している大学生を対象に、大学生協等と連携した食の支援を行う事を目的としています。同JAの谷島勇常務理事は「食を通じた地域貢献活動の一環として今回、パックご飯を寄贈しました。

この取り組みは地域貢献活動の一環で、栄養や食料の摂取を学校給食に頼つて育っている子供たちや、物価高騰の影響で食費を切り詰めて生活している大学生を対象に、大学生協等と連携した食の支援を行う事を目的としています。同JAの谷島勇常務理事は「食を通じた地域貢献活動の一環として今回、パックご飯を寄贈しました。

フードバンク茨城へパックご飯寄贈



令和7年12月25日

むつみの料理帖

手羽照り

【材料】

酒 大さじ2	カレー粉 大さじ1/2
みりん 大さじ2	塩コショウ 適量
砂糖 大さじ1	味の素 3振り
醤油 大さじ2	手羽先 10本

【作り方】

- ①フライパンにサラダ油を引き手羽先を並べ酒、みりんを入れ火にかける
- ②肉に火が通ってきたら砂糖、醤油、カレー粉を入れ色づくまで焼く
- ③味の素を加え最後に塩コショウで味を整える

提供者
猿島中央支店職員



相続セミナー・無料個別相談会開催

JA茨城むつみは12月9日、境町の本店にて地域貢献活動の一環として「イザつ」という時の相続に慌てないように今からできる相続準備!」をテーマに士業による相続セミナーと無料個別相談会を開催し組合員、職員ら約30人が参加しました。講義内容は二部構成として行いました。

一部では、和野聰司法書士から遺言・相続登記について、二部では、大川春樹税理士から相続税について講義を受けました。

各講義終了後の質問時間では、参加者より質問があり、講師が一つ一つ丁寧に回答しました。また、午後には個別相談会を開催し参加者は対面での相続対策等の相談を行いました。

参加者からは「今後も継続してほしい」等の声が聞かれました。

JA茨城むつみでは、今後も引き続き組合員や地域住民への事業継承や相続のサポートを行っていきます。



授業終了後には地域貢献活動の一環として猿島地区で採れた「レタス」をプレゼントすると、児童は「レタスの種まきを実際に体験出来て楽しい」と話し、坂東市の農業について学べる良い機会になりました。



野菜博士が逆井山小学校へ出前授業

JA茨城むつみは11月27日、坂東市立逆井山小学校の3年生32人を対象に「出前授業」を行いました。この取り組みは、同市の基幹産業の一つである農業について知つてもう事を目的に行っています。

当日は、同市作成の「わたしたちの坂東市」の教科書に基づいて、同JA猿島地区営農センターの後藤政司センター長が「野菜博士」に扮して授業を行いました。

授業では「レタスのたび」と称して、種まきからお店に並ぶまでの過程についてパネルを用いて説明し、種の形のクイズやレタスの種まきの一連の農作業を体験しながら学びました。

授業終了後には地域貢献活動の一環として猿島地区で

採れた「レタス」をプレゼントすると、児童は「レタスの種まきを実際に体験出来て楽しい」と話し、坂東市の農業について学べる良い機会になりました。

冬の靈峰「富士山」と 武田信玄公の隠し湯「下部温泉」の旅

旅行実施日 令和8年

2月4日(水)~2月5日(木)【総和地区】

2月10日(火)~2月11日(水)【三和地区】

2月14日(土)~2月15日(日)【五霞地区】

2月17日(火)~2月18日(水)【猿島地区】

2月18日(水)~2月19日(木)【境地区】

2月22日(日)~2月23日(月)【古河地区】

●申込金/10,000円 (旅行代金に充当します)

●募集人員/各班80名様 (最少催行人員24名様)

●利用ホテル/下部ホテル

旅行代金

大人お1人様
(3名様以上1室利用)

39,800円

(2名様1室利用 43,100円)

- 添乗員/全行程同行いたします
- 食事条件/朝食1回、昼食2回、夕食1回
- 利用バス会社/サワキ観光、中山観光自動車、橋観光バス
- 行程表

日次	行程	食事
1日目	JA茨城むつみ各地区 —— シャトー勝沼 —— 里の駅いちのみや 7:00~8:00 見学 —— 山梨県立美術館 —— 下部温泉 15:30	朝 夕
2日目	ホテル —— 身延山久遠寺 —— 道の駅「なるさわ」 —— 9:00 早食 ほうとう不動 —— 世界遺産 忍野八海 —— JA茨城むつみ各地区 12:00~13:00	朝 夕

※この行程表は令和7年11月12日現在の予定であり、天候・交通事情またはその他の理由による変更になることもありますので、予めご了承ください。

JA茨城むつみ 特産物

令和8年度 新茶 ご予約承ります

予約
特典

新茶ご予約特典

予約受付期間

2/2~3/末まで

- ①3月末までのご注文で予約値引きの対象となります。
- ②ご予約のお客様に粗品プレゼント!

新茶は

1年この時期だけ楽しめる
特別なお茶です
旬の味を楽しみませんか?

茶畑より筑波山を望む

さしま茶のご紹介

茨城県さしま地方で生産されている「さしま茶」は、江戸時代初期より栽培が始まわり、利根川流域の肥沃な大地に育まれ、さらにすぐれた多くの人々の手によって改良が加えられ、味と香り豊かな銘茶としてその名を今に伝えられています。

さしま茶の秘密

冬の厳しい寒さは、お茶の葉にコクとうまみを作り出しております。さらに、有機質をふんだんに含む肥料を多く施しているため、豊かな香りと、味の濃いお茶が出来上がり、多くの皆様にご愛飲いただいています。このようにして作り出された「さしま茶」は、厳密な審査のもと、より美味しく、より安い商品として販売されています。

気分さわやか 笑顔がうれしい、
ヘルシーファミリー。

J Aでは、摘みたての新茶を真空パック詰めにして、ただいまお得な共同購入運動を実施しております。
この機会にぜひ、一年分の新茶をまとめてお求めください。

お買い求めの目安

1回7~10gを利用し1日3回入れかえた場合には、1年間で約10kg使用することになります。
お茶の新芽だけを集め、真空パックしました。開封までは摘みたての鮮度が保たれますのでまとめてご利用ください。